

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

教授

熊谷 哲孝

くまがい のりたか

研究者基本情報

最終学歴	岩手大学大学院人文社会科学研究科修士課程修了（地域文化専攻）
取得学位	学士（文学） 修士（学術）
学位取得年月	平成6（1994）年3月（学士）， 平成9（1997）年3月（修士）
出身地	岩手県
専門分野	言語情報学・認知言語学
担当科目	基礎英語，展開英語，応用英語，教養演習
所属学会	日本言語学会，英語語法文法学会，言語人文学会
長期研究テーマ	1. 英語の冠詞に関する諸現象の分析と考察 2. コーパスを用いた英語の諸現象の観察
短期研究テーマ	英語の軽動詞構文における不定冠詞 a(n) について
1年以内に発表予定の研究業績	「軽動詞"have (a) use of"に関する考察（その2）」を『富士大学紀要』に投稿予定

研究業績 (2026年3月末日現在)

【論文】（学術的論文）

1	"On Universals of Preposition Stranding,"（単著）『言語研究』（言語人文学会ワークショップ論集）第1号，1996年11月，25-29頁.
2	"On Preposition Stranding,"（単著）『岩手大学大学院人文社会科学研究科研究紀要』第6号，1998年3月，11-17頁.
3	「英語の前置詞の残留現象について」（単著）『富士大学紀要』第33巻第2号，2001年3月，163-170頁.
4	「コーパス分析に見る Avoid と Escape について」（単著）『言語と人間』（言語人文学会機関誌）第6号・第7号，2004年3月，23-27頁.
5	NORITAKA KUMAGAI AND KOHSUKE KISHI(2004)（共著）“A Corpus-Linguistics Study on the Distribution of Avoid and Escape in English,” Working Papers on the Semantics of Construction in Language, A progress Report of the Scientific Research Supported by the Science Research Promotion Fund Granted by The Promotion and Mutual Aid Corporation for Private Schools of Japan, DTP Publishing, Tokyo, 25-27.

6	「軽動詞構文“have a use of”に関する考察（その1）-不定詞の共起に着目して-」（単著）『富士大学紀要』第49巻第2号, 2017年3月, 15-25.
---	--

【その他の執筆】

1	「平成10年度 石鳥谷・大迫・東和町地域フォーラム〈ふるさとづくりの多様なこころみ〉（石鳥谷町を中心として）の検証」『平成15年度 岩手中部地域フォーラム検証調査報告書』（共著）（富士大学附属地域経済文化研究所），2003年11月，11-19頁.
2	『「交流人口の拡大」に関する研究調査報告書』（共著）（平成18年度岩手中部地区広域市町村圏事務組合委託，富士大学附属地域経済文化研究所受託調査），2007年3月，17-19項.
3	「言語としての英語の歴史的変遷について」（単著）『星辰』（富士大学学術研究会報第71号），2007年9月，10-14項.
4	『「コミュニティ ビジネス」に関する調査研究 報告書』（共著）（平成19年度岩手中部地区広域市町村圏事務組合委託，富士大学附属地域経済文化研究所受託調査），2008年3月，24-25項，34-39項.
5	「インターネット翻訳サイトを用いた英日翻訳についての予備的考察」（単著）『富士大学紀要』第41巻第1号，2008年8月，115-124頁.
6	調査報告書（共）『花南地区まちづくり基本計画の素案作成に係る報告書』，2008年10月.
7	「特別支援学校における外国語（英語）教育について」（単著）『日本福祉工学会誌』10巻2号（「読者の広場」），2008年11月，15項.
8	「特別支援学校での外国語教育における課題把握と問題解決への展望 第1報～知的障がいのある生徒に対して～」（共著）『富士大学紀要』第42巻第2号，2010年3月，77-84項.
9	「英語における名詞の可算，不可算に関する予備的考察」（単著）『富士大学紀要』第43巻2号, 2011年3月，85-94項.
10	調査報告書（共）『花巻市基礎調査研究報告書』，2012年9月.
11	「英語軽動詞構文についての予備的考察」（単著）『富士大学紀要』第46巻2号, 2014年3月, 67-72項.
12	「物語として見る英語史」（単著）『盛岡大学英米文学会会報』第34号, 2023年3月, 11項-18項.

【学会発表】

1	「前置詞残留について」（単）言語人文学会第3回大会(岩手大学)，1996年5月.
2	"On Universals of Preposition stranding”，（単）言語人文学会第4回大会ワークショップ部門（岩手大学），1996年11月.
3	"On Historical Approach to Preposition Stranding”，（単）言語人文学会第8回大会ワークショップ部門（岩手大学），1998年11月.
4	「前置詞残留とCliticについて」（単）東北英文学会第54回大会(東北学院大学)，1999年10月.
5	「コーパス分析に見る，Avoid と Escape について」（単）言語人文学会第11回大会シンポジウム部門（岩手大学），2001年9月.

6	「コーパス分析に基づく 無生物主語構文 についての考察」 (単) FLC Conference 2002 (盛岡大学), 2002年6月.
7	「コーパス分析による Avoid と Escape の違いについての再考」 (単) 2004年度統計関連学会連合大会 (富士大学), 2004年9月.
8	「養護学校における外国語教育の現状と課題について」 (共同) 日本福祉工学会第11回学術講演会 (秋田県立大学), 2007年11月.
9	「特別支援学校における英語教育について」 (共同) 日本福祉工学会第12回学術講演会 (山梨大学), 2008年11月.
10	「英語の軽動詞構文における不定冠詞に後続する語の品詞について」 (単) 平成24年度言語人文学会大会 (岩手大学), 2012年8月.
11	“Indefinite Article a/an in Light Verb Construction in English” (単) 平成25年度言語人文学会大会 (岩手大学), 2013年8月.
12	「軽動詞構文"have a use of"における不定冠詞の削除に関する一考察」 (単) 平成30年度言語人文学会大会 (盛岡大学), 2018年8月.
13	「英語の軽動詞構文内の不定冠詞とその直後の要素との関係 - have a use of に着目して -」 (単) 2024 (令和6年) 言語人文学会大会 (オンライン開催), 2024年9月.
【内外における公開講座等の講師】	
1	「英語おもしろ進化論」花巻・北上市民セミナー講師, 2002年. 9月, 10月
2	「コーパス検索の楽しみ」盛岡大学言語教育研究委員会(MODIL)主催公開講座講演, 2007年9月.
3	株式会社伸和光機社内研修講師, 2009年3月.
4	「海外の視点から見た東日本大震災」花巻市民セミナー講師, 2011年9月.
5	「海外の視点から見た東日本大震災」北上市民セミナー講師, 2011年10月.
6	「英語の歴史物語 — その祖先と進化について —」進学講座講師 (岩手県立岩谷堂高等学校), 2014年7月.